

▶ スコアボード ◀

FIFAクラブワールドカップジャパン2015

横浜国際総合競技場

12月10日 (木) 19:45キックオフ 開幕戦

12月17日 (木) 19:30キックオフ 準決勝

12月20日 (日) 16:00キックオフ 3位決定戦

19:30キックオフ 決勝

チケット 世界同時販売 9月13日(日)午前10:00



発行 一般社団法人横浜サッカー協会  
編集 同 広報委員会  
〒220-0012 横浜市内西区  
みなとみらい6-2-1  
TEL(045)662-4315 FAX663-5800  
http://www.yokohama-fa.or.jp  
印刷 神奈川新聞社  
〒231-8445 横浜市中区  
太田町2-23  
TEL227-0736 FAX227-0785

横浜サッカー文化の推進へ

今年度から少女の部を設けた第42回横浜春季少年サッカー大会で27年度横浜サッカーがスタートした。同大会のLの部は、日本サッカー協会が提唱するFAリーグの予選リーグも兼ねることとなったため従来にも増して白熱した試合が行われた。恒例となったビーチサッカー大会も猛暑にもめげず熱戦が繰り広げられた。さらに、熱い声援の下でのスパーキッズゲームと魅力のある横浜サッカーが展開され、さらなるサッカー文化の推進が期待される。

優勝

Lバディー LLマリノス SL SCH

第42回横浜春季少年サッカー大会

第42回横浜春季少年サッカー大会は、4月11日の開幕から7月12日までの各カテゴリーの決勝戦で約3か月間

たる熱戦の幕を閉じた。

Lの部予選リーグは今年から実施されることになった横浜地区FAリーグを兼ねるこ



すすき野が制覇

少女の部

少女の部は参加5チームに

となり、各ブロック1位のチームで決勝トーナメントを行った。LLの部、SLの部は例年通り予選リーグ2位までのチームで決勝トーナメントを行った。

その結果、Lの部決勝戦ではバディーSCがSCH、FCとの接戦を制し優勝した。LLの部決勝戦では横浜F・マリノスPrがバディーSCを下し優勝した。SLの部ではSCH、FCが富岡SCとの接戦を制し優勝し、大会2連覇を果たした。

FAリーグ(U-12)始まる

本年度より4種においてFAリーグ(こくみん共済U-12サッカーリーグ)が始まりました。

これは日本サッカー協会が提唱し全国一斉に行われるもので、小学生年代の多くのプレーヤーが無理なく移動し、年間を通じたリーグ戦を行う

ことで、この年代に適したプレー機会を提供することを主旨としており、試合形式はボールタッチ回数やゴール前の攻防が多くなる8人制を採用しています。

また、リーグ戦で行う主旨としてはMTM(試合→トレーニング→試合)を通じて、

前の試合での課題を克服するためトレーニングに励み次の試合で試す、というサイクルの中で選手の育成を図る意図も含まれています。

これにともない従来8月に開催されていた全日本少年サッカー大会は12月に開催されることになりました。

神奈川県では7地域・グループに分けFAリーグ(こくみん共済U-12サッカーリーグ in 神奈川)が行われ

FCコリアが市長杯争奪

第54回市長杯争奪日朝大会

第54回横浜市長杯争奪日朝親善サッカー大会が8月29日、ニッパツ三ツ沢球技場で行われた。

大会は、小学、中学、高校、社会人、シニアと幅広い年齢層で対戦が行われ、横浜市長杯争奪戦は、横浜社会人選抜

ることになりました。(本年度の横浜地区FAリーグには167チーム参加。)

これを受けて横浜市では4月~6月の前期リーグ、8月~10月の後期リーグを実施し、その成績にて本年度は神奈川県中央大会進出36チームを決めることにしています。

なお、スケジュールの都合上このFAリーグが従来の横浜大会のLの部予選リーグを兼ねることになりました。



よるトーナメント方式で行われた。決勝戦で金沢ガールズを下したFCすすき野レディーズが優勝した。

SLの部

三位決定戦

JFC

1-0

横浜北

FC

1-0

富岡

SCH

1-0

FC

1-0

SCH

1-0

FC

1-0

SCH

1-0

FC

1-0

SCH

1-0

FC

1-0

SCH

1-0

FC

1-0

SCH

1-0

FC

1-0

SCH

1-0

FC

1-0

SCH

1-0

FC

1-0



横浜市長杯争奪戦は、横浜社会人選抜0-2FCコリア

とFCコリアとの対戦で行われ、FCコリアが2対0で横浜社会人選抜を下し、横浜市長杯を争奪した。

試合結果は次の通り。

|       |     |       |
|-------|-----|-------|
| 桜丘    | 2-0 | 神奈川朝鮮 |
| 横浜    | 1-1 | 神奈川   |
| シニア選抜 | 1-1 | 高麗FC  |
| YSCC  | 4-3 | 関東朝鮮  |
| ジュニア  | 4-3 | 中学校   |
| ユース   | 4-3 | 選抜    |

チームみんなで頑張りたいと思います。

得意のカウンターで

マリノス 福井大次郎

ぼくたちは今大会で一番印象に残ったのは、バディー戦でした。バディーさんは対人が強くピンチがありました。けれど、前半の終りまわに、得意のカウンターで得点が入り優位に試合を運べました。その結果、勝つことができました。うれしかったです。夏に体力をつけ秋もカウンターをいきたいと思います。

辛い練習を乗り越え

Lの部 杉田 隼

僕は、この市大会に向けて、1日1日の練習を大切に、どんなに辛い練習でも乗り越えて来ました。決勝では、1人1人が勝ちたいという気持ちで強く出ているので、勝利を勝ち取ることが出来ました。この市大会で学んだ事を生かし、今後の大会で

ハーフタイム

まだまだ、暑い日が続いています。皆さんが皆さん何回かお過ごしでしょうか。8月の下旬は特に暑い日が続く、気象庁によると都心

最後まであきらめない

少女の部 すすき野 三宅 香穂

この日、5年生の時にインドに引越した元チームメイトが応援に来ていました。なので強いすすき野をみせた、そう思っていました。接戦になってもみんな最後まであきらめなかったのが優勝できました。とても嬉しかったです。

です。戦争での中断が3回ある為、回数と年数に差異が生じています。ところで、皆さん、高校サッカーの歴史も古く94回大会で、98年になる事をご存知ですか? サッカーの場合は、やはり戦争と大正天皇のご崩御により4回の中断があります。実は、厳密には全国大会になるのは第9回からですが、詳細はここでは省きます。興味のある方はパソコン検索等で調べてみては如何でしょうか。(守)





ビーチサッカー2015は、8月1日、2日の二日間にわたり金沢区の海の公園・ビーチで行われた。二日間とも猛暑日という厳しい環境ではあったが、暑さを吹っ飛ばし、スピーディなゲーム展開が繰り広げられていた。第8回を迎えるビーチサッカーは、毎年、ビーチバレー・ビーチハンドボールなどとともにビーチスポーツフェスタの一環として開催されてきている。

## 猛暑の中の熱戦 今夏もビーチサッカー大会

ビーチサッカーはブラジルが発祥で、1992年に統一ルールが設けられ、海辺のレクリエーションとして世界の各地で親しまれてきている。そして、1995年にはブラジルで第一回世界選手権が開かれ、その人気が高まってきている。2005年からFIFA主催のワールドカップに名称を変えて隔年ごとに開催されてきている。また、2006年からは我が国においても地域予選を勝ち抜いた代表6チームによる全国大会が行われてきている。

今回のビーチサッカーには、小学男子21チーム、小学女子5チーム（リーグ戦のみ）、一般男子12チーム、一般女子8チームが参加。それぞれ予選リーグ、決勝トーナメントで覇者を決めた。大会結果は次の通り。



男子の部 ◎小学生 優勝…藤塚B 準優勝…藤塚A ◎一般 優勝…八景ランド 準優勝…FSC

女子の部 ◎小学生 優勝…SHガールズA 準優勝…FCすずき野レディーズ ◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

◎一般 優勝…FC小坂B 準優勝…FC小坂A

## 日本クラブユース選手権

## マリノスがダブル優勝

日本クラブユース選手権（U-18&U-15）でF・マリノスユースとF・マリノスジュニアユースがダブル優勝しタイトルを独占した。

U-18の決勝は、8月1日にニッパツ三ツ沢球技場で行われた。F・マリノスユースは5対3で大宮アルディージャユースを下した。また、F・マリノスジュニアユースは8月12日に帯広市の森陸上競技場でFC東京U-15むさしを3対0で下し、それぞれタイトルを奪取した。



©Y.F.M.

ユース監督 松橋力蔵

今夏に行われました第39回日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会では、非常に過酷な環境下での連戦を、選手一人一人の高い意識と目標を見据え覚悟をもって挑んだ結果、見事最高の成績を収めることができました。

この結果は選手を支え続けてくださったご家族の皆さんや、F・マリノスの育成に限らずこれまでに各選手を

ご指導くださった多くの方々、全員の勝利と考えております。冒頭にも申し上げましたが非常に過酷な環境と試合日程等で多くの意見や議論があることは理解しています。無論今後この議論は重ねていくさしでも良い環境で育成年代の大会をより良いものにしていく必要はあると思います。しかしピッチで戦っているのは選手です。この環境の中で何ができるのかといった事は、十分選手を成長させるうえで大きな意味を持っていると思います。私たちはこの過酷な環境の中で如何に相手との「違い」を見せられるのか？そしてその違いでチームを勝利に導くことができるのか？こんなことを選手に問いかけ続けました。大会を通じて大きな成長を遂げた選手もいれば悔しい思いで大会を終えたものと様々ですが、感情は違えど目標は同じ方向にあることを確認し次のステージへチャレンジしていきたいと思っています。

## ユースキャプテン

遠藤溪太

8月1日、僕達横浜F・マリノスユースは三ツ沢で日本一になりました。個人でも MVPと得点王の二冠を達成できました。様々な人の支えや助けには感謝しなければならぬが、もっとも感謝したいのはチームメイトと二年前の先輩方です。チームメイトは自分の調子の浮き沈みや点を取るにつれて必然的に増すエゴにも文句一つ言わずに自分を信頼してくれ、その期待に応えるため自分自身成長できました。

二年前の先輩方が見せてく

## エスぺランサが争奪 第50回横浜市長旗ジュニア大会



平成27年度・第50回横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会の決勝トーナメント戦は、6月20日、21日、27日、28日の四日間に行われた。この横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会は、前回までは横浜市中学校体

育連盟（略称・中体連）の所属チームと市内のクラブチームが一堂に会し各区の予選大会を勝ち抜いてきた区の代表チームで決勝トーナメントを行ってきたが、今回からは中体連の方は春季大会等の成績を考慮したベスト8チームとクラブチームは予選トーナメントでベスト8になったチームによる決勝トーナメント戦となった。

6月28日、しんよこフットボールパークで行われた決勝戦は、エスぺランサとBANFF横浜ベイのクラブチーム同士、エスぺランサの戦いとなり、エスぺランサが1対0でBANFF横浜ベイを下し、横浜市長旗を争奪した。

## ジュニアユース監督

坪倉進弥

今日大会を振り返って思うことは、真剣勝負の中で自信を得ることで、選手は大きく、そして急激に成長すること、改めて感じる点が出てきたことです。その要因としては、トーナル8戦全勝で頂点にたどり着きましたが、どの試合にもゴールを奪うこと、そして試合の主導権を完全に握ること

## ジュニアユースキャプテン

栗原修輔

最初から優勝できると思っていたわけではなかった。大会前、攻めていてもなかなか点が取れず勝てない時期があった。チーム内では、もう一度自分達を見つめ直し、一つ一つ練習から積み上げていこうという話になった。迎えた全国大会。今、振り返るとあるチームとの一戦が山場だった。厳しい試合だった

が、そこを乗り越える事ができたのが優勝に繋がったと思う。それができたのは、日頃から一人一人が切磋琢磨すると共に、グラウンド内外を問わずチーム内に一体感があつたからだと思う。

今期最初のスーパークイズゲームが6月21日にMMスポーツパークで開催された。今回は34団体、44チーム、510名のキッズ達が参加し、元気一杯に人工芝ピッチを駆け回り、応援の保護者からも熱い声援が送られていた。



©Y.F.M.

## 熱い声援を受け キッズ大会

次回、Goa123は9月19日（土）に、しんよこフットボールパーク、日産フイールド小机で開催される。

## 法人会員一覧

横浜マリノス(株)  
神奈川新聞社

(株) 横浜シミズ  
(株) 横浜食品開発  
(株) JFE東日本ジーエス  
(有) マルイシエ芸  
(株) 横浜アーチスト